



疑惑隠し無法な「解散」

安倍総理は9月28日国会を解散しました。全く身勝手な、地位利用の解散です。自分が追い込まれているが、戦う相手の民進党は党首交代で内部不統一、脱党者続出。野党共闘も不調。小池党も準備整わず……と、敵は弱体で今がチャンスというわけで敵失狙う卑劣なカケです。その無法ぶりを挙げれば

①野党4党が憲法に基づいて国会開会を要求していたのに3か月も無視して疑惑追及を逃げていた。

②疑惑追及が終わっていないのに、開会冒頭で解散し自らへの疑惑解明の機会を奪った。

③解散権は首相の専権などというが、今回のような解散を認める権限は憲法のどこにもない。自民党の勝手な解釈。憲法では政府と議会の主張が対立したとき、内閣（政府）の目指す政策が実施できない場合、どちらをとるか国民に問うのが、内閣による解散だ。与党が圧倒的に強くてやりたい放題してきたのに、総理の疑惑を追及させないための解散などもっての外。

というわけで、まったくこじつけ解散。疑惑隠しの解散です。それを隠すため、消費税を福祉でなく教育に回すことにしたからとか、北朝鮮の脅威に対抗するためとかこじつけています。いずれも争点になっている問題と違う。これをなんと「国難突破」の選挙だなどと例によって大袈裟な看板を掲げています。「国難」は安倍内閣の存在そのものではありませんか。

民進党解党! 希望の党の寄生政党?

都知事選で大勝し、勢いに乗って都議選で自民に圧勝した小池百合子氏はいよいよ国政に打って出ることにし、名付けて「希望の党」。まだ何をめざす党なのかまるで不明です。ところが選挙で争って党首になった前原氏は今回の選挙で民進党から誰一人立候補しない、全員小池氏の党に潜り込んで公認してもらい選挙を戦うという奇手にでました。中身もわからぬ党に丸ごとゆだねる既成政党ならめ寄生政党? 党首になったのはなんと自党を解党するため? いままで望みをかけてきた議員や国民への信義はいったいどこへ。野党共闘でのこれまでの約束もホゴに? 前原氏らの動きに反発する党内の動きもあり、あくまで共闘の追及を。

選挙は10月10日公示 22日投票

安倍改憲NO! 「全国市民アクション」結成

3000万人署名目指す



安倍政権による憲法九条改憲に反対する市民らが、新団体「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション実行委員会」を結成した。9月8日中野でのキックオフ集会には1500人が参加。来年5月までに3000万筆の請願署名を目指す。

今年5月に、安倍晋三首相が唐突に「憲法に自衛隊を明記して2020年施行を目指す」と表明したのをきっかけに、臨済宗相国寺派管長の有馬頼底（らいてい）さんや作家の沢地久枝さん、作家・作詩家のなかにし礼さん、神戸女学院大名誉教授の内田樹（たつる）さんらが呼び掛け人となり、市民団体や法律家団体などが賛同して結成した。

会見で、呼び掛け人の一人の評論家、佐高信（まこと）さんは「再び戦争をしたい人たちを阻止していきたい」と訴えた。

賛同団体の「戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会」メンバーの菱山南帆子（なほこ）さんは「北朝鮮のミサイルに対抗するのは平和外交しかない。不安をあおるのではなく、対話で平和を。憲法はそのための武器だ」と訴えた。実行委員会には、これまで他

団体と共同行動をしてこなかった「九条の会」（総がかり行動実行委員会にも名は出さなかった）も参加。同会の事務局を務める渡辺治・一橋大名誉教授は「従来は地方の九条の会との調整や連絡を重視していたが、会の存立に関わる重大な転換点なので」と強調した。

「福田村事件」を知っていますか？ その2

ある保育園の催しで、在日韓国人のミュージシャンに出会いました。小学生の頃から強烈ないじめを受けたそうで、極めつけは担任までが、「あいつと遊ぶんじゃないぞ」と言って、差別をしたそうです。そして、そうしたいじめに耐え切れなくて同じ在日の同級生が自殺をしたといいます。

やがて大人になった彼は、ギターをかかえて、差別撤廃や反戦を訴えて、日本中の路上で歌うようになりました。彼の途な訴えと澄み切った歌声に感動した私は、何度か流山に招きました。

たいていの人は、涙を流したりして熱心に聞いてくれたのですが、帰り際にある人が「そんなに言うなら、さっさと韓国に帰ればいいじゃない」と、言いました。ああ、これは歴史を知らない人の言葉だなと、私は感じました。



自警団が竹槍で朝鮮人を殺している様子として戦後に掲載された写真（編集者）

もう一つの理由は、女学生時代に震災を体験した女性の一代記を書いたのですが、そのとき初めて、朝鮮人虐殺の事実を知りました。学校でも教えられなかったし、これほど大きな事件を知らなかったという事実打ちのめされました。自分が手を下していなくても、人間として、日本人として、知っておかなければと思ったわけです。

辻野弥生（つづく）

「九条の会・流山」学習会ひらく

9月23日北部公民館で九条の会・流山の学習会を行いました。この日は九条の会（全国）が発行した新しいパンフレットの渡辺治氏の提起をもとに、世話人の石林が報告。戦後すぐから始まる改憲策動の特徴などを整理し、今回の安倍総理の明文改憲の意味を考えました。今回の自衛隊加憲提案は九条の会をはじめとした国民の反対で幾度もとん挫した経験から、反発をかわし、反対しにくいよう狡知を凝らしたものです。

また改憲の発議が万一行われたとき、国民投票はどのように行われるか（一括ではなく、類似は項目ごとの投票となること。国会の発議を投票にかけるため提案は一つであることなど）の確認なども行い、今後の活動について意見交換を行いました。

相次ぐオスプレイ事故 ☆エンジン不調もう1機

米海兵隊のオスプレイが8月29日夜、エンジン故障のため大分空港に緊急着陸しましたが、同機と行動をとともにしていた別の1機もエンジン不調で飛行不能となり、山口県岩国基地に1カ月以上、とどまっていたことが判明しました。

☆9月にも緊急着陸

9月29日午後5時ごろ、沖縄県の民間専用の新石垣空港に、米軍普天間飛行場所属のオスプレイ2機が緊急着陸した。防衛省沖縄防衛局などによると、1機の計器に異常を知らせる表示が出た。もう1機には異常はないとみられる。空港は民間専用のため一時、民間機が滑走



路が使えず、発着ができなくなった。再開したのちもオスプレイは滑走路脇でオイル漏れが続いた。2機は軍事

演習のためフィリピンに向かっていたといいます。沖縄県の翁長知事は「けしからん」と怒りを表し、改めて飛行差し止めを要求しています。こんな危なっかしい軍用機が日本中の空を我が物顔で飛んでいます。

沖縄辺野古の海の埋め立て開始

9月25日沖縄防衛施設庁は辺野古の海の埋め立てを始めました。沖縄県の中止要求や環境アセスメントの結果などまるで無視して碎石を大量に投下。工事が進めば、原状回復は困難になります。護岸ができると埋め立てが始まります。しかし沖縄には海底から埋め立てる膨大な土砂を採掘するところがなく、遠く九州や瀬戸内から運んで埋め立てしようとしています。沖縄の回復不可能な破壊のために膨大な資金税金が使われるのです。

沖縄県議会は「辺野古移設反対」決議を可決しました。各国政府や環境保護団体でつくる国際自然保護連合（IUCN）がまとめる最新版の絶滅の恐れのある生物リスト（レッドリスト）に、名護市や石垣島で大群落が確認されているアオサゴが掲載されました。

この沖縄の基地問題こそ選挙の大きな争点です。

おおたかの森駅宣伝は

10月9日（月）15：30～16：30



カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130 - 5 - 464735 口座名 九条の会流山